

005

學界中大第...
同不家...
教席同...
議...
聘...

亦不...
平...
...

溫州府



揀

溫州府

93.24 厚莊雜錄

稿本

共 柒 冊 存 柒 冊 排架號 00546

丙午十月廿日与溧秀锦书

梅别教年未及夜既且息

复然日升 出社时造出易

右律正治替心必多外诸

灵学重想自知才力不探

学界一中大第多身士可

闻不家公英独能中功集

教席同公商议能聘亦不



謝名有後

本月初十日付美洋四元 此次由金而替之生帶即有無名洋為未核
行所有收委在兩文外社西交件丈一并核算

附信一並寄

今收到錄收美洋四元之正已入年內未收

初十日初三日

言法可及之

致終者書初詳列 大陽生 本年年報 轉因 丹家

系社海倫 善狀 世先哲 想如君 奉學期

奉學期 善狀 世先哲 想如君 奉學期

範圍 他第 初以固 才以易 知能 節現 科學

架 勉 此 深 密 用 功 難 道 步 身 人 才 以 信 之 說 似 此 華 南 今 世 先 於

試 聽 分 數 不 逾 中 人 欲 用 市 視 漢 少 不 肯 爾 來 故 敢 於 去

其 時 賜 令 其 備 有 牌 院 子 於 初 子 子 列 其 書 之

五胡 古命書

聚 集 者 南 港 陳 姓 塘 坊 一 案 家 會 與 為 和 世 民 心

同風華標非同核也亦素不有或玉石俱焚也

賢文如加意者所免此玉石同燬次故法周生宏毅以直於

聖梓之復未志生視物敢報也崇修奉商一切所應如

何洞雷華後之靈敢請而示札宜保日祇探道則大

局幸平甚也

上胡太守書

敬者初郡白少字平一都多揚湖之仰捐助白少字

美序元行由初子翁後請子德送通款現內公伴也

同益由之創造台瑞惟通款由直依德如未免也此掛

之化生轉運宜敢請靈台特款西字並每每害銜索

送由後子自製惟製然日備力害倫道收以示務亦藉

心知子之所保所存幸七者上

並謝花字市

敬者者中學市現於前州傷眩奉托靈山府中軍者

半請木批津昂赴奉信購看西沛特一枚片材洋以而

龍臨十三枚能知或可及於也又双奇財有造也瓶門候

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

同下乃以茲快汝者初意其在也

刻下移學做去情片多行心正所為也列是家

再身家

勝平

書資日平幸不為受付心

此亦必易再四即一亦未清如此軒字限在案

高御來州請州批 尊年 兩印書而以九紀念之

不坐中向

敬啟者本鄉學務諸兒曹蒙幸已夜間沛在漏感謂之按
通書本之矣 矣亦不究君視書感以以迄完其在歲屆編皆

三言 處助天俱不切蒙 敬啟者本鄉學務諸兒曹蒙幸已夜間沛在漏感謂之按
初接延名報行 謹其年實固可德其自南東

筆識則此休佳 運初生抄多意人見初大利未

必不赴再議一存生 廣博

無疑須當美紅玉 風

何等 台合部 實為和

與本之有格書 名因措及材完

可位也

日修其德

久而愈敬

季桓先夫人閔下教者所慕也

乾道志難繼日新其德時志深力欣成取

算管業日新 貴鄉洪君美爵名端教

事年推由梓朕並任師範教事成務皆

河不日高初約打因竟篇有在內使先

漢事 國之淑那地僻中書加心當道

至中款其法不能多身有年隨翁目

早欽佩約內登有

閔下與達夫姓名教計

季桓先夫人閔下教者久耳

感名未記

心惟死日惟死二三同志德崇

文社射也

卷社日射也力欣成洪君美

時東任教那平子教務凡

...

...

本年共支銀兩。除請款由勸業日一〇〇中子〇〇年
交由常款〇〇〇〇〇〇元。成以而在下地。二〇〇〇〇〇
支由常款。計共銀兩。三下為差免請。手
重安者上以修

由申請事奉日初言奉

實由中學的款。修費些奉年支用。核計不敷。其能由府設法
抑於海用。若行修費。本年三月底止。計撥洋三千九百元。并加
款位。至四月。洋一千九百元。府庫已。地府。經費。並向。銀。存。息。借。學。務
中。月。各。學。校。政府。自。當。加。意。附。持。似。者。收。付。一。專。持。以。或。再。白。的。款
。請。有。害。時。日。下。這。有。照。奉。付。本。勢。而。有。奉。年。上。子。胡。市。七。字。
。前。年。報。利。存。計。修。收。洋。七。千。三。元。海。文。道。係。署。書。一。種。似。完。等
。款。二。百。半。修。之。外。者。有。洋。五。百。元。請。批。請。如。前。總。有。洋。百。五。元。

收以於

別

月分新用一以亦多需以有不敷何計見復四發事此亦中學校
費用在能考家

實分年發五千元二百元之多仰見

咸查育材嘉惠無已園郡士林同深銘佩惟事年上學期學生
周財次下皆中元沐園書務以完事款二百元備充外聘有班生

既此項不敷款於備款財策請先向錢岳岳具信而中學校
若收謝作抵不奉荷因也仍向各同位上自洽款用款

前項子費
查每月款支已少便

六省思
查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

查每月款支已少便

別
別
別

子若何修
元對沐
伊子十
光元

察事
伏升

会商

宗旨... 宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

宗旨... 宗旨... 宗旨...

定一榜欵、法德知而有

憲台新登、靈臺乃學、法德知而有、
以謝身書、無方宗

此之德意、惟不片亂

靈河、法德知而有

重有

亦亦

存少、德德、之、知、之、仲、名、子、曾、領

考核

亦亦

法子、曾

法子、曾

黃、仲、臣

孫、仲、臣

次、中、甫

洪、藩、卿

孫、仲、臣

洪、藩、卿

吳、郁、周

孫、仲、臣

孫、仲、臣

黃、梅、子

秦收

國朝

陶某清

陸夏良

葉瑜卿

正初六年

類

致書者至親十一部朱子平他方痛歸朱某民力股

西來可次安使可廣可卿等指敵國勢一事休

勿提充可同唐沈惟真

紅意海業出衣身有由中意休可次等名在御多事去年

後也生華名共得姓念全一事之六後意从中咳痛成以此

以故養去年知序充信以寢安事後歸歸朱吳歎受

得也心或一以信有無充事後族中信或故痛出祈念社

中 以押充是花里所有新令孤寡一書此社後

民歸紆威席之也

二十六

茲者者以縣口南而率年米穀缺乏人心惶惶之即過羅
無物合晨蒙縣文并夜向坐清冥穀矣同身待教者多
想可出境也惟鄉每運歉成富戶社倉受累其什而九
之破家者社時賒借不還立必擇甲中殷實自力之任
良情甲有社米勤賒勒借平候社必令虧折賒社盡其
書一後一運歉成甲家借此數大故以訪賢有司察其弊
情不准理

釋中

中

別隱出得做仿一也派別被此屬起小甘評以六井
同甲路出以景力故面廣一也事也現時社部大社下
久東久爰然久益以社倉之事社中使甘力米思生
年計社進何示無惡不作之已革國善李和米久東
章生科舉度後在鄉以教作力業山事社以松社以
提探軍士候國教仲以高董凍鉛珠玉何述瓦事謂
如來社以兩等今社以社以社以社以社以社以社
俾早括清察核多情得社以社以社以社以社以社
息

世乃當乃必多
乃世乃必少

御

必以... 諸河... 宜由... 地段... 人... 洞... 此... 弊...
必以... 諸河... 宜由... 地段... 人... 洞... 此... 弊...
必以... 諸河... 宜由... 地段... 人... 洞... 此... 弊...

宜... 宜... 宜... 宜... 宜...
宜... 宜... 宜... 宜... 宜...
宜... 宜... 宜... 宜... 宜...

核... 宜... 宜... 宜... 宜...
核... 宜... 宜... 宜... 宜...
核... 宜... 宜... 宜... 宜...

今收到唾壺九十八個四前每個以計英洋拾五
元六角八分小脚結拜計英洋壹元肆角共英洋
壹拾八元另八分四釐奉上一乞印代為轉付來
人等查核 謹此

夜可表州函

日明囑及

年報

示不貴中飲聘劇君汪舉一亦事必應方
日命惟劇君未能應聘之委事周甚複可為連年事堪動
遂舉事人年已老運以有不能出此心也 謹此

中子端有前諸事日中自離年言德欠送等一年老

有石款女士門意謀后近御良北口已 謹此

取仲文之中至游子庚另聘立句也自石鋪七丹有清事

物事付修多任原據以即向 定那師死後由奉官負

与蔡古命

稟

者故市前承

府官發給

林道銀師

日元

越項已送由被該銀師之自意職許三百後奉飲工料居何也

今是止不付項該師 謹此

教英日而事教
少以在事惟板均
事辭法新能正

右承署印者如女似此款

公甚深好 道憲飭付方可出後以此公何口改所需萬計

物概擬封解自薪支又月身飲估特折不果勢改停解

漢仙正成財款 而後即付此款之方如已於款

公甚切如家法奇情乞如山等乞至款即日仍該海

付以印子信方月章甚 務者上

上運介不文

敬請者春初輯別特解海石信

公遣可死時也
其物不直其反
正格以而年活
以此、

集德修補、修補勢力效 既解即字集德至此(

維外尚批及至甚少亦如 監種一披上有尔、而字務亟須甚款

正保以良其之度多 諸解外同和牙不心少幸由改壞而既身其

其半幸好匡長病牙 洛力首不特慢力物此印請矣

丈力外年替今計 院思近此而字在 親其美若供君主何情

任御執事即余次 誥前靴決中同令而字務主解既評以多

臨到勤其金辰 亦有美天仲者可君 且情別月冠三時 具最為相

越而三其近切石 亦仁、似 敬請其友 與互相商 年降之

取由抄作印家法書內情形及名以本等之一案戶以移文
方立規自

与示加尹七年五

取案者教中子等常年修養而奉由府署發給共飲
本年七月發支日奉府署發給修道修養等費共銀
道印送後師位取後行之日及行三日味飲不料是反
局併不付正日後降輕人奉之銀四石中存也而道意極
差官印亦不付該款以包束好定實逐口奉司生

修付方之口費也前案今公出奉中儀至案請

案按應奉免條案由向署發給費銀此款什分銀兩

案由向署發給費銀此款什分銀兩

案由向署發給費銀此款什分銀兩

日一故石後修師位之從員知針

定由印中案補修費等物該師位付以法子務大

已已如也時書

與法可石等字

周寶林

可相功以准大以洋古止此也

耳耳平陽江南湖院各少子考考以是州官由抹極然廣人

以准通家

故書白少少子分

以傳法依仰小重

仿有此事日急勿

此書東事長

于狀此該事長

右該事長

以准通家

仿有此事

此書東事

于狀此

收此書新等國失打冒昧等

証如款去情刑據空案請

身奪事國子務必嚴不之

重等

五月

如往者

台商敬悉一切項因黃裕生

甚急據云須待付祿通而

收取恰如彼此避盡已如中內所該黃程士師似完款項
美洋四元對匪銷訖所有該師完款者自向程道取
清已奉中核計案為核可元為數無致請
憲公印賜指撥或請各項計案另印中繳銷誠為後
者上

上府大官原

敬案者溫郡中學常年經費前層奉旨發給案內
成等項余雖可支持前由上憲杭州教育會等如
前

杭州中學堂籌辦章程

杭州中學堂籌辦章程

查該堂以考試經費以五成撥歸公府補助為詳據云溫郡中學

常年經費每年進三萬兩則減半亦即一萬五千方以常年分三三有三年係

年計籌備經費約一千五百元左右該款撥充他方各學堂有案未通

備由本府撥借耳

年日萬兩三年分三有三年係年計美洋約日四千元左右之數如仲

於本年日些如仲玉之考棚經費以五成充子務公所共修之成或力

部必奉南區堅持如日令裁以必為提立他方各學使也通防各奉

府核議公文和撥行之二據與則子使通防公文已列該款為應處

力府考棚修費案
已而法中丞運餉子
使必安半為以撥公
府補助存好子系子
使詳請由府首核
儀自派核府子系棚
請撥每年一千二百元
為補助等目的援例
之撥府各處進二學年
三年為一屆據此則咸

不空後復相原亦
粘抄呈請
伯覽者即致訪
崇寧寺沙門
聖學因

澤州府志
成科試必供一書以考其已否主序此款必類中級自若也者相機歸也

中子以道行受
精義者
不空後復相原亦

作古如時
九制之行

定製房言東
九制之行

附示

敦語者每
仰止與遂趨不

底准於梓鄉
信依取於發白

人禱谷也慶

身節微祥

社底民富

困下欲降

勃格玩通高
以傳中世
以睇

世間公

弟左右
深謝
仍示

笑拓采公居次弟西屋卒即歷祥如悅賸念鄉邦每難

勤助鄉人素系每謂中興既中學務以正衣冠保誠等

欽奇銀未能充拓邦休中子歲款正有五千允得

金空雖榜類而公私用振力力已窮議中會謂中書安司

道項計有四萬八千在共祥公錄成數銀如得指撥數千

歲由定款別以中不免竭似微下度而周房失為裁修益廣

厚底款不不少補信郡人知也助

大君不物復同履如指千金百深欽佩惟是士林喁喁實業

求益之意不非中者善實修地方以信則款同撥無送

益誠力用何材牛亦出物七出中得是樹坊加捐五千

共三千今詳定成力常一款以資庫助力為財助書善美弟

浙草相因恨未起而特為故鄉學子儲券以助寺有凍請

深能何家實情必其有突估以所之云行日送禮也

星山區以具後本坊力云即人士換取一稅中

因府憲初到... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

... 惟該案未另奉... 惟該案未另奉...

黃祐生佛匪畫四百元並另撥作日元以徽銷該平商

丁卯便詳蒙

元收得該案日... 官署書具... 元收得該案日... 官署書具...

... 官署書具... 官署書具...

... 官署書具... 官署書具...

... 官署書具... 官署書具...

... 官署書具... 官署書具...

... 官署書具... 官署書具...

并案... 年款... 元... 俸... 年... 銷

... 元... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

分發

上存案出

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

上存案出

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

... 俸... 年... 銷

重下以次... 九月十日

兴尹... 出

以... 者... 以... 奉

批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

水... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

或... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

为... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

... 批... 以... 者... 需款... 甚... 延... 研... 延... 付... 案

其英英洋... 自崇... 二十六年... 抵... 前... 外... 存... 善... 俾... 拾... 元... 式... 角... 四分... 式... 元... 谨... 用... 具... 情... 奉... 做... 呈... 七... 八... 月... 抵... 销... 清... 摺... 申... 请... 仰... 祈... 垂... 察... 申... 解

核... 行... 至... 申... 者

计... 申... 解... 英... 洋... 七... 元... 式... 角... 四分... 式... 元

上... 初... 可... 至

以... 事... 者... 项... 出... 苑... 寺... 或... 乘... 申... 称... 上... 年... 粮... 派... 子... 申... 奉... 有... 常... 款... 地... 取... 三... 蒙... 恩... 用... 登

以... 平... 均... 俾... 令... 函

以... 往... 者... 次... 即... 商... 为... 〇... 等... 白... 道... 案... 清... 准... 领... 行... 后... 出... 列... 平... 購... 冥... 粮... 粉... 油... 米... 之... 好... 氏... 份... 均... 同... 石... 准... 信... 通... 地... 址... 俾... 请... 价... 示... 倘... 欲... 者... 平... 末... 道... 改... 即... 依... 法... 出... 成... 規... 裁... 有... 明... 文... 執... 查... 鋪... 山... 地... 律... 皆... 利... 有... 運... 費... 石... 碑... 之... 核... 率... 年... 以... 南... 法... 鄉... 歲... 古... 中... 德... 糧... 耗... 文... 外... 氏... 尚... 希... 會... 所... 高... 仿... 已... 打... 磨... 帶... 磨... 末... 物... 傷... 餓... 荒... 糜... 糧... 情... 似... 可... 四... 准... 准... 以... 商... 氏... 州... 財... 務... 以... 他... 未... 見... 或... 土... 收... 之... 耗... 上... 所... 餘... 之... 否... 仿... 令... 率... 以... 加... 款... 中... 俾... 持... 立... 不... 日

定款別財穀流通商民所便誠使民一也以此也且是亦有古
以作金多可也

府出

必多者以多奉伯不

何處系及購^{字如}存依冠報銷及七初月聞五一節

者購^{字如}實^{字如}移^{字如}以^{字如}完^{字如}板^{字如}領^{字如}清^{字如}招^{字如}於^{字如}四^{字如}月^{字如}廿^{字如}七日^{字如}具^{字如}報^{字如}處^{字如}案

招^{字如}銷^{字如}所^{字如}招^{字如}於^{字如}五^{字如}月^{字如}初^{字如}百^{字如}具^{字如}報^{字如}有^{字如}能^{字如}銷^{字如}是^{字如}石^{字如}後^{字如}詳^{字如}合^{字如}計^{字如}免^{字如}缺^{字如}招

新^{字如}加^{字如}石^{字如}招^{字如}尾^{字如}五^{字如}七^{字如}初^{字如}月^{字如}聞^{字如}支^{字如}於^{字如}九^{字如}月^{字如}廿^{字如}三日^{字如}申^{字如}報^{字如}切^{字如}而^{字如}第^{字如}核^{字如}五^{字如}九

月內聞支計無美序七甲八元字已於本月十三日申報
候美序字元方後美^{字如}序^{字如}完^{字如}案^{字如}請^{字如}准^{字如}出^{字如}數^{字如}若^{字如}行^{字如}傳^{字如}之^{字如}數^{字如}
前領計卷空雖久延也案上取請
十

又

以京者或於本年閏四月初一日奉

出核充中子坐者否手冬奉請得正未奉

完先奉年接所以來奉奉

德並出

也如并字各進冊以候至是也則於無以故一似甲子有日
人之後而於

實方到入外用人一書益可以老

年音一而進士林、冲國無不以為元也之既布三、休情

重客未上祇請崇安補儀德降 二列日

一件年舊群臣中子監習田

〇乙丑年之 亦年亦法者日可必事林學字朱家百

五年个

以類者。前即商方北無等請後推而務知世朱何句
長倫浪以二百折印見

宜公快手氏合一云意惟考物知出以後一七城以教信及

有美日向高取法米以石其已多少出在此本多別地業既

勤美戒賦責又太影折王五竟浪五六百折奏令

該商每按差計移收不折射日浪年自自擇技

也信海漸似以別 亦依有方李涉不運或亦行晚

山謝見得商民初便一中漢茶

香

山

清疏理氣胃味是也

子存

竹石公云云

方稿可以既仙

以新稿子中

足翠北紅科

勝於收據

中似不相立

皇物才以

七亦大

叙素者

性快

廣

安素

任

彭

估原

子存

竹石公云云

方稿可以既仙

以新稿子中

足翠北紅科

勝於收據

中似不相立

皇物才以

七亦大

叙素者

性快

廣

安素

任

彭

持未可似家無請

証正所由有直公事提由親由公果能到公不加了等言其方

あり居外飛候

實等公法因候等振幼公伴身中多難請年等一

請候の公使

十月十七日

与平相令一函

取江者部商方世並等向止重之請所保修後四列平

而和務迄男正請侍前憲限同候取限同出候

由如大 由行

この市代存等及令在見

祇内傳前宣沼正之右持言日出境而修寺度

蘇正改修宣請存部抽洋女角千部心不徒云

林等古懸弁休生平米取道即成所心也教有向文信此

才碑文の核是如探中何果候云云

此更射則于部候在比中比高三河 實の太念一系

有是物是難知候 治海限制那箇は物指指め

院不佳病海四年以計以有為染病海那末方

史等少事案候見是無所守高而修寺度

司事者... 司事者... 司事者...

挂肚與... 挂肚與... 挂肚與...

司事者... 司事者... 司事者...

上存者...

司事者... 司事者... 司事者...

司事者... 司事者... 司事者...

司事者... 司事者... 司事者...

司事者... 司事者... 司事者...

Handwritten signature or mark.

初

核計... 核計... 核計...

九千元以上... 九千元以上... 九千元以上...

用... 用... 用...

初... 初... 初...

司事者... 司事者... 司事者...

司事者... 司事者... 司事者...

司事者... 司事者... 司事者...

司事者... 司事者... 司事者...

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

無

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

無

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

未定

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

美文別錄

廿元

膠金卅元

後用

右年支銀一千五百元
西子烟行表由

後修善務

美洋五百元

後修仁宗

五百元

加項少銀二百元

清源理及諸事并修善

清源理及諸事并修善

丁十荷

坊至世心諸事并修善

三年以年捐出

以修善務

以修善務
坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

坊至世心諸事并修善

改利前憲訊由而治而該地臨時交計通陳君錫璠及龍等
 征和陳君知州德中惕曰前而能爭謂地幸山滿程憲對無誤
 爭向奉皆山坪業仍有人州中淑集有自何出惕向而使漢視
 矣亦有山坪出田與否以何古易地惟山宋亞奉憲且只交奉
 奉有防押山莊長初思如於奉奉解步女官方小而由奉地
 方一受奉奉奉早火燒房多解方河德社付奉度此次河生
 頭他抗官家奉奉終一奉保保保保保保保保保保保保保保
 後慶提經詳應文完而也補以恒高銀而法應奉誠由云

于書官戶由解
 教外村外姓被地
 方權制段與信身
 自世石之而實

計素上

身身自編海禁行及多數局
 正而多制官設編而地方抗抗上者到款一二已到及凡州而
 梅氏信信自便知一而悅其出內地一打有云解已越
 坦子轉軍不附士請亮成刑平侯措勒益是甚以他方也
 國之而之也幸一吸海一編付私份女者送四地一刊初免
 及反訂按地方總受安安之內吹冷中逐成今有初案
 海道乃海何似聚聚如財官也此部正見請日定用

白官

仲夏初秋

仲夏初秋

仲夏初秋

仲夏初秋

仲夏初秋

仲夏初秋

仲夏初秋

上抄

此後者此次那宋

此人甘為下流

立夫公

此亦無以恒高

上抄

此亦無以恒高

此亦無以恒高

此亦無以恒高

此亦無以恒高

此亦無以恒高

有窮入市以此四者誰用也

憲台飭派一人素帶巡視距少於素用敢中請

飭派平陽府知府朱德高方北巡幸向

道憲請後到平陽府知府朱德高方北巡幸向

好之限字等語據保和精考此民食多需和精請令出口則食

穀反不保言不致偏海以此空情乃有慶年係壽慶到自瑞安

案詳保和精考此民食多需和精請令出口則食

飭著押出院已虧缺五千餘斤矣該庫在在裁米分散心也

一次水任駐在地城初創年青黃不接時派事正多回人推憲請

上憲飭提 財思地方預一和提 官紳自有主也

憲台爰及民水之由地方詳審與刑敢惡

札飭平陽府知府朱德高一併先收 官紳自有主也

取等字措各份來函 官紳自有主也

高換估元

送財起个一書上

上尹令一書

向中

朱德高

汝南公初大人幼學為修道中子希子林心同以吳本天黃

蓋煥集章年^{立期}作征付訊^{乞先}中四^{為字如我}近日有^課無心功淨份銀未結

起署守候仍任訊時請臨野

後知以便臨時送^籍東^籍同^籍了未^籍分^籍延^籍後功保子之素上

上卷

羽多者林日^籍仲^籍多^籍乞^籍出^籍抗^籍電^籍子^籍款^籍而^籍令^籍宿^籍連^籍方^籍東^籍現^籍已^籍款

也^籍只^籍方^籍年^籍系^籍事^籍年^籍子^籍事^籍行^籍費^籍似^籍可^籍裁^籍而^籍以^籍抵^籍前^籍摺^籍人^籍數^籍亦^籍年^籍玉^籍平

身^籍試^籍畢^籍多^籍得^籍亦^籍請

物^籍瓜^籍之^籍者^籍請^籍日^籍內^籍未^籍中^籍以^籍後^籍守^籍一^籍段^籍律^籍未^籍度^籍施^籍生^籍一^籍事^籍向^籍平^籍湯

吳^籍州^籍等^籍山^籍府^籍字^籍詳^籍羊^籍七^籍外^籍實^籍行^籍此^籍方^籍不^籍延^籍地^籍方^籍多^籍事^籍敢^籍請

各^籍達^籍札^籍發^籍方^籍為^籍素^籍上

此甲大午

汝^籍南^籍公^籍初^籍大^籍人^籍幼^籍學^籍為^籍修^籍道^籍中^籍子^籍希^籍子^籍林^籍心^籍同^籍以^籍吳^籍本^籍天^籍黃

度^籍胸^籍與^籍沈^籍討^籍賊^籍人^籍事^籍涉^籍江^籍一^籍案^籍此^籍事^籍吳^籍部^籍助^籍事^籍以^籍由

成^籍記^籍核^籍公^籍理^籍由^籍部^籍制^籍杜^籍成^籍四^籍姓^籍知^籍首^籍由^籍吳^籍村^籍自^籍行^籍理^籍清^籍惟^籍他

特^籍該^籍處^籍實^籍由^籍法^籍修^籍督^籍按^籍高^籍素^籍多^籍時^籍天^籍村^籍領^籍他^籍法^籍村^籍子^籍守^籍千^籍羽^籍因

吳中不為中世無人他日所造吳言常樂七十十午文已行下
 實以日為多也創為計職司惟一亦憲持吳供如法性原由五
 日午文亦矣白凡五殊時以仲漢難了學後三九村之行如九
 也村一千多餘午文不吳備白除而故節橫生(定多使使臣不
 却湯比時吳在田吳時石梁三年午文(定)誌
 宜好力拔去俾 鄭到林成方宗批日解廣了軍後日直提晚与
 鄭美物此之盛好天到時燕之印仙事之否解生(定)改命吳性
 海善寺那城以石有佛像原乃城之五上

疏 与片何文志

胡文從定大之而个台修者 華市於本月十三日收運
 介由首市由六至(定)事 大尊請派兵
 亦 其(定)下 去來(定)事 大尊請派兵
 看(定)事 於本月十三日收何故計(定)日
 瓜(定)兵(定)獲(定)身(定)以(定)情

勤文

吳中

海

上存云

此意者吹甲福

或

公修辭請教子日期不同不取一好勿位五科者二年

請何情原混於孝日十五日教子並修撰科生年

業也德報通神牛何業文德爾此奉無試改

字細多

海相文是日五年庚請爾修訂書

句也

以便

好

候

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

此物者修身者慎一事象將止重皆終修福之人若日

好

此世同而之無心也或雖能同字之自是改事請
宜為志士早小大從公思出律日也奉一此控中
至常有生利無礙子事相請
意久多致子請度力勸守守六月欲化校一愛身
也壽上無情狀
學亦而沈



陶子名

此年論及幾十有幾多一甚原與月守待一要身人生有以日
一則子名則死是名日不爭爭而名日未則所以進而名方而名
孔特保能一生命一古保今日款一生命一而人款所核口存而不感其以
此世仁義道法一說一而一之也則命一進首在名存什一廢大以中保
無以生命一收保及日奉一甚原與月守待一要身人生有以日
而由生也
世相友也
性多性靈和悅皆生信家說居而清而更足解的廢蓋循卑也
以中而實物於人印信一無拘高者一以中而有益於人印信一美

先候小押人息銀
與了已至

與了已至

致案者平湯雪漢吳漢春師南貨店主吳蘭芳現休
○實札市委以移平湯雪漢所遺所該社直吳洋等
該社向委在末子社通交易此社在二十一年欠通益棹
行洋言九千元立票四張於去年十二月陸續付清皆
該行駁言在四珍一人任子君任初次返票書法甚後
票云存行不消帶來隨中視手書收條一帛交該社作

據了印記不料該廢票不入社通復生故中該社
不能助債折生印中申訴如示何嚴追亦了

○核實該社債狀
白分如承第欠未債
○核實該社債狀
債人証果在呂
○核實該社債狀
債人証果在呂

○核實該社債狀
債人証果在呂
○核實該社債狀
債人証果在呂

○核實該社債狀
債人証果在呂
○核實該社債狀
債人証果在呂

高竹寺

敬修者日首等奉

賜之。這不

垂涎。新德。新德。

新新。

凝聲

崇系。新德。江師。

此鳥香昌。情見深。悅。可來無。此。何。人。首。侍。事。

情。度。定。村。

新猷

高竹寺。新德。新德。新德。

不我。深。情。日。意。解。去。集。集。去。首。無。所。及。舒。自。心。性。

學。力。果。其。難。難。難。知。信。日。渴。飲。以。成。立。是。亦。正。以。者。也。

作。地。以。此。中。著。書。相。對。力。以。或。亦。可。文。此。尚。同。至。龍。自。心。性。

新。正。大。沒。那。這。日。後。以。其。成。亦。結。平。去。刊。案。以。到。身。失。其。教。

國。如。是。意。如。病。公。道。集。末。疾。不。言。于。以。黃。公。故。後。通。此。元。

元。元。元。

上四手手出

如志中子前事

刊

頌茲康寧是年山千元洋已似此指卷弱受石及拜
化定直乘二程外存餘千元實不敷用亦再奉送此致
卷後心老急言其指銷數目俾於上學期抄向招釋

請

寫後事俾也

亦



退河

未可

戒法

晨起無業燧於官中得法臣得之許法頭蓋棄不用者對

二放火日性不此可慎理并三一事修物可以消急需是知天下無量物

外法空愛二一尊權頭西火得出叔王榜原天下福多打亦易不不

法三為善之基本撥而幸皆是改遠 己未二月廿七日

予有欲行相言年湯達有曰年廿四托換去之其人心之行之

拘買法第二日西矣字付中土井正此一念不切中自慎一世

身修去三業十毒解隨三惡道而起根則不去業以拔去之毒而

先其隨時去一念伸之種一念起出中初為道之向一因必收法後

一不念一念伸使重念制伏而月即為現若不隨一實現狀已于法

若種然則直名種之古日月一 某日

東丁家初身一念伸使重念制伏而月即為現若不隨一實現狀已于法

伸使惡念轉為向善一念伸使一此去惡垢如此方合善人一念不

能有所念也 廿七日

救珍無向自無影走入世轉一業深則解脫是雖有人等欲行

有人嗜欲重學心一此業深一以不能制伏而消海一轉一迷深念

招念深制而消一此等身功德亦欲行一而法行一此其功一

一財用之用此者史可錄亦有多少若用一打牌尚有多少
至多一錢財之用此者亦當有多少若用一紙連河玩有
多少至廣即此數亦人之心財命用一付者或供一子者均有無
早委難回一牌洋酒三三三三有無是理何及 聖旨

財財無引此洋半此內因外係合廣皆元外係章並財
不己這度之受選而此內因所造之牌特以可而不知交實具
此這係中甚妙之數即不在此得而由因中自有財意此時度
而自生內皆云打無得而能生財則已佳成或選之多少夫不

得命也而此可以家可不相欲 聖旨

上下流人判若冰炭且接于上流乃何者乃道一恥見於下流乃
指言此使路乃上流一人必非自向而力有未一亦流下流而與所合無
向乎此正非自故一机幸勿能之若特况托下流乃煙而無不
而止流所紀報年融廣進之非亦此上流竟由交而止 聖旨

可也此云云不無善不善而無善不善而無善無善也
日亦有之云云身沒有損中身切記切記 聖旨

孔子夫子河云者則事人言則事忠事之云云知死此數性已示

尸死廿八虫一經老少時自眩眩意年亦神素獨也一似少辰神竹
在神印之上征舞中必弄弄禱下不弄情世似此是流神人這辰
初子那雲印不此神佛思之言生之這以念造因能印成不念之這
善往久無向此印事人初生一這而事變死一學未初少列牙信仙
仲子也道一這唯取經云回身一早白少年身白字

李是起三神竹約持而之念信此也景因試問來一相詢經深
試果問如交少使色計入攝此竹也後來女中這孤持持一不
口打此性修修一功果耐不而問對一問對印朱極而大打靈物

法神而入于靈道出此字經一入于靈道來也計中一也五極身則
事到之解出既矣 皇元七年二月

奉心新而而常一書買也堆中這子似也書書書也上道在
靜而常一不也夫也他不故再一不夫美事是念一列失持
印次比場正口山 善白

仲子布托借美多功法而佛老人布能借美仍心不牛功法日人能此
布能借心托也心托彼世功法不日相假身是也也能可心持得愛
世愛沙仰愛無而定是妻女古孝而愛心有金善与甘向七日因人

心理的教授原則 杉山富樫編

第一章 教授、必要

第二章 教授、意義 教育者使心身之切努力無所倚恃
而發達以完成道德的品性也所為目的

第三章 教育、基礎

原則一 教授材料及方法不可不恰當于被教育者之完成

通文

老人位 新金小説

一老人 聖子より市牛這來心尚喜尼傳於甲仙臥劇中

老人位長而白者稱一信來少蹇滯而色枯

頰紅結則入一半地大戸即市販書紙橫塵積屋宇皆拮据立初控

屏息久違之人出 之帽倫仙形有烟榻起而幌白目沫而乾未本

已同以疾行上 老人屏息為以初日前事以迄十有餘年幸了信

考抄之歲而寄多取誰日此中願以仙先生能養

夏日視老人復視乎急為名得久之云此人多謝致履以相去

老人無活 之人云云大笑之有也為家見若誰七肥の不能信哉

院若知以事仙 老人仙無活 之人云云身年復大也云云

考人亦以之非 今平得而取新

已一此歸之老婦 仙而寄新 且守云新之付命以老不任

力你於此誰也 子書于市以購米今中亦與此屏一日食以病喪

心即の而事誰 且以持誰以終 老人無位位

為之曰嘆乎 今有親之伴伸指以少中伸書以之也生八日中

七書 且又之曰誰也云云

教者必先正其心 容易疏矣 而後三年

一教授之容易必因法而舉一案件

甲教授於精神未盡 凡各擇其宜者 已早已成備時 而自普通心

四列中 自宜者 其及地屬 且自顯者 且以及細微 且以丁

自易以及難 時中 且以及所教材 且以多時 已教授得 且以時 且

定者 精神未盡 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

後後用定者 時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

二疏來 甲送來 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

疏同 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

而後 甲以教師 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

一事業 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

生位 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

治 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時 且以時

說明書教授原則

- 一 教授當從自然、次序中自覺其秩序與方向之原理也。
- 二 對中惟教一事 三 序及方向一事也
- 四 凡事當使諮詢的學習者之使理解也
- 五 學習向當先自事因孩子、不可教授時不可加抑壓
- 六 一切事實以畫一之變、種種材料以同一之方法教、之種種、材料必務
- 七 事同一之原則編系、八 先務其物治及方式之舉、其原則及規則
- 九 常用各種及分解的研究而教授、

教學法之原則

- 一 自然且有適當之序 甲 今教育當於其青年時之少年時也、即時最遠
- 打何等而當視兒童之年齡而採適于其理解力、教材此亦不後
- 二 自然之提供材料而後成之形狀 甲 當準備不籍及一切教具、先使理
- 解及以字法則等、而一切之法不自文字、書自適者、文章中之、
- 丁 當先求科、之儀、之形、或的、傳、等、也、若之、其、例、之、想、則、
- 三 自然之對其事業之傳達、材料以出、去、有、使、之、適、者、學、備、
- 甲 存學校、之事、不可、以、有、學、而、能、受、教、授、之、狀、態、也、以、接、教、時、者、使、受、

養精汁達于感愛中教師對受者然即一原理之核也然其善長也
也丙亦宜重禮其行意有取好

四自然必無稱之事業互相銜信其法分別者近甲不日時保許多教

五自然于其事業自然終業去甲以事物之理解由第一次之記憶後及

六自然于其教即法之知即其理解之方法而達至應用

六自然其建設皆自普通起而漸及于特別

七自然其進步之途法不流等甲科學的操練之自然其法應往言而

也後其之務備階級之時而分記

八自然其途不達完全不止甲其途不達智識途義宗教師人物授

度其之不在乎乙避噴噴也而規則上所著務中其之中止了急情之及

例之門而其不在乎

九自然其途及討及有實一物甲其途其之持教物同其之同也

十自然其途其之知能其之及在何一處而無移其之入教之途也

十一自然其途其之其也

心理的教授原則

(一) 教授材料之方針
 一、教材之方針
 二、教材之內容
 三、教材之程度
 四、教材之方法
 五、教材之時間
 六、教材之場所
 七、教材之設備
 八、教材之經費
 九、教材之效果
 十、教材之改進

一、心理的教授原則
 二、心理的教授材料
 三、心理的教授方法
 四、心理的教授時間
 五、心理的教授場所
 六、心理的教授設備
 七、心理的教授經費
 八、心理的教授效果
 九、心理的教授改進

(二) 知识的权力有自然顺序因而按此顺序知识不必并
其种类 一表现作用 二再现作用 三思考作用 其中思考作用

指以少层得也 考自此而考其推理 考自具体的而进至抽象的
先感性的知识次思考的知识 先方片以规则 先主事果以教之
义或原则 考自此而考其推理 考自此而考其推理 考
自此而考其推理 考自此而考其推理 考自此而考其推理
言彼考自此而考其推理 考自此而考其推理 考自此而考其推理

三 無論打行字年其教科不可不包括表现的知識再現的知識及思
考的知識

(四) 心的能力之發達及訓練不可不保其自主而細細活動

普通教育不可不保其自主而細細活動
心的能力隨作用而增加 普通教育不可不保其自主而細細活動
心的能力隨作用而增加 普通教育不可不保其自主而細細活動

不同教授何等知識其重要程度不一其作用必受條件之限制
知識之知識

教授法

或如不如此尾端者，其教後潛以多耗多費

一直接甲 直接教化

一教化一 平偏 二 不 三 後 四 後 五 後

二思考甲 思考 乙 思考抽象

二抽象三 以後 四 以後 五 以後

三共同努力

三共同努力一 共同 二 共同 三 共同

知識篇以確其方法之適用者，其法之適用者，其法之適用者

一不之共同教授材料之分析，其法之適用者，其法之適用者

講法的教式示教 主功 授訓 備用 同用 講文

對話的教式向是 向是

講法 使學生自直接在 在 在確一觀念正當，其法之適用者

感情味，其法之適用者，其法之適用者，其法之適用者

制 使學生自直接

討論 使學生自直接，其法之適用者，其法之適用者

的活動而的成去表達，其法之適用者，其法之適用者

以材料及子力而為其目的，其法之適用者，其法之適用者

教授材料之在，其法之適用者，其法之適用者

而不可學起自情，其法之適用者，其法之適用者

女子教育論 日新 永仁 吉野 等 目録

普通女子校并新設外國語及理科等校の設置時間先裁

進修事業の進捗と生理衛生法 未可若子、子不違于父母

女子の体育 靈物并破家族年和減自己、幸福又去の兒女、別御者

食料 衣服 居室 運動 婚姻

女子の教育、直接保存生命、事業、間接保存生命、事業、三教表

女子の職業の調査及海上生活調査等、事業、事業、事業、事業

女子の生理学 衛生学 教育学 女子 女子 女子 女子 地理学



思想 女子 育字 胎教 國史 体育 婦学 家政学 物産学

衛生 婦學 衛生 衛生 衛生 衛生 衛生 衛生

女子の教育 女子の教育 女子の教育 女子の教育 女子の教育

女子の教育

女子の教育 女子の教育 女子の教育 女子の教育 女子の教育

女子の教育

女子の教育

女子の教育

金正清學路

會副蔡驊

會員陳國恕

鄭振鐸

崔德鴻

韓邦錫

庶務吳王冕

李陸麟



馬鏡濤

陳襄

運

文子
文子
文子

文子
文子
文子

文子
文子
文子

文子
文子
文子

文子
文子
文子

三三三
文一
文
文
文
文

文
文
文
文
文
文

文
文
文
文
文
文

文
文
文
文
文

文
文
文
文
文

文
文
文
文
文

文
文
文
文
文

溫州府圖書館